

古典の日宣言19年目をむかえ

# 第4回 古典の日 フォーラム 美しき愛知

日時 令和8年10月31日(土) 午後1時開演(30分前開場)

会場 名古屋能楽堂(名古屋城正門前) TEL 052-231-0088

平安時代の中頃、寛弘5年、紫式部により『源氏物語』が生まれました  
それから遥か千年後の2008年11月1日、源氏物語を契機に  
「古典の日に関する法律」が制定され  
11月1日は国の定める記念日「古典の日」となりました

一 式典  
序 「一宮市指定無形文化財」島文楽」 人形口上触れ

二 KOTENリレー①「古典は結果を急がない」  
山本 壯太 古典の目アドバイザー  
宣言 「さくら変奏曲」 箏 長瀬 あずさと 愛知県立三宮西高等学校箏曲部  
宣言 中野さくら(南山高等学校女子部) / 蜂谷愛理(金城学院高等学校)  
ご挨拶 松坂 浩史 文化庁審議官

三 地域文化財 豊橋「幽玄、強さと郷愁」

魚町能楽保存会 ― 能と「能面」 ―

観世流シテ方 能楽師 武田 志房・武田 文志

聞き手 林 和利(伝承文化研究センター所長・東海能楽研究会代表)

四 特別講演 「古典和歌の世界 ― 頼政と二条院讃岐」

高木 和子 国文学者・東京大学名誉教授・放送大学教授

五 観世流 舞囃子「頼政」

シテ 武田文志

太鼓 河村眞之介  
小鼓 後藤嘉津幸  
笛 山村友子

地謡

吉沢 旭  
武田友志  
武田志房  
武田章志



主催：日本の伝統文化をつなぐ実行委員会

後援：古典の日推進委員会 愛知県 名古屋市 豊橋市 一宮市



文化庁

令和8年度文化庁文化芸術振興費補助金  
(地域文化財総合活用推進事業)



たかぎ かずこ

## 高木 和子

東京大学名誉教授  
放送大学教授 国文学者  
「源氏物語」研究の第一人  
者として知られており、長大な  
物語を丁寧に読み解き、作  
者・紫式部の思考や当時の  
宮廷背景に迫る多くの著作  
を発表。



清原雪信筆「百人一首画帖」より二条院讃岐 「嵯峨嵐山文華館蔵」

## 地域文化財 豊橋 【魚町能楽保存会】

国の重要美術品に認定された  
能面・装束を含む、県・市指定文化財  
360点を保存継承

豊橋は古くから陸上・海上交通の要衝として栄え、戦国時代  
には今川義元公が、海の安全を祈ることを条件に、片浜十三  
里の魚貝を安海熊野社境内で売買するよう命じました。室町  
時代末期には八世観世左近元尚が当地で過ごし、江戸時代  
には吉田藩の祝宴で能が勤められました。近世中期以降、藩  
主や町人に愛好され、今日まで受け継がれています

出典:魚町能楽保存会パンフレット



ながせ

## 長瀬 あずさ

沢井箏曲院会員。  
愛知県内の高校をはじめ  
文化庁邦楽普及大使とし  
て、幅広く技術指導や演奏  
活動を実施している。



たけだ ゆきお

## 武田 志房

シテ方観世流 能楽師  
1942年生。故武田太加志  
の長男。父及び25世宗家・  
故観世左近に師事。  
重要無形文化財総合指定  
保持者。



たけだ ふみお

## 武田 文志

シテ方観世流 能楽師  
武田志房二男。父及び  
26世観世清和に師事  
重要無形文化財総合指定  
保持者。

## 特別講演 古典和歌の世界 — 頼政と二条院讃岐 —

源頼政は、鶴退治(仁平3年・1153年)や保元・平治の乱(保元元年・1156年、平治元年・1159年)で名を上げた武人であると同時に、和歌の才にも優れ、その娘・二条院讃岐もまた優れた歌人でした。後年「平家にあらずんば人にあらず」とまで言われた時代、平清盛の信頼を得た頼政は、武士としては異例の従三位にまで昇りました(治承2年・1178年)。  
平家の専横への不満が高まる中、頼政は源氏の長老として以仁王とともに挙兵を決意します(治承4年・1180年)しかし計画は露見し、宇治の戦いに敗れ、平等院・扇の芝で自害しました(同年5月)頼政は敗れましたが、その挙兵は諸国の源氏を奮い立たせ、源頼朝の挙兵(同年8月)から始まる治承・寿永の乱(〜1185年)へとつながり、武士の世の幕開けとなりました。

### 父から娘へ — 和歌がつないだ心

武士として歴史に名を刻んだ頼政は、優れた歌人でもありました。その和歌の心は、娘・二条院讃岐へと受け継がれます。頼政が宇治で自害した治承4年(1180年)から約八年後二条院讃岐の歌は、文治4年(1188年)頃に成立した『千載和歌集』に採られました。

#### 父 源頼政

(治承4年・1180年5月 宇治・平等院での辞世)

埋木の 花咲くことも なかりしに  
身のなる果てぞ 悲しかりける

#### 娘 二条院讃岐

(文治4年・1188年頃成立『千載和歌集』入集歌)

わが袖は 潮干に見えぬ 沖の石の  
人こそ知らね 乾く間もなし

## 一宮市指定無形文化財「島文楽」

一宮市島村に伝わる人  
形芝居。地域に受け継  
がれてきた伝統芸能を、  
序の口上触れでご紹介  
します



## チケットのお申し込み方法

### 【前売りチケット販売所】

- 芸文プレイガイド (直通) 052-972-0430  
(メール) geibunpg0430@gmail.com

- チケットの郵送も対応しております(別途送料)

〒461-8525 名古屋市東区東桜一丁目13-2  
愛知芸術文化センター地下2階 芸文プレイガイド

### ● 名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL 052-249-9387 平日 9:00〜17:00 / チケット郵送可  
※ 名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口く土日祝日も  
営業>でもお求めいただけます。

### ● 日本の伝統文化をつなぐ

HP とときどき2026  
(<https://d-tokidoki.com/>)  
上記HPより購入できます。



※QRコードから  
アクセス可  
実行委員会  
(ときどき2026)  
チケット購入

お問合せ／日本の伝統文化をつなぐ実行委員会 ☎ 052-323-4499 〒460-0012 名古屋市中区千代田三丁目10-3

◎ 11月1日(日) 「市中の山居」日泰寺寛春庵 ◎ 令和9年1月31日(日) 「桃山の美とこころ」開帳一信長・秀吉・家康の遺したもの― 名古屋能楽堂

### ● 入場料

指定席 / 3,500円

自由席 / 2,500円

中学高校生招待

(要予約・学生証当日提示)

※お席に限りがありますので  
mkabuki2@gmail.comに  
学校名・お名前・連絡先をご記入  
の上ご予約ください(先着順)

※車椅子席ご利用のお客さま(4台分)  
事前予約 052(323)4499



### 会場地図



## 名古屋能楽堂

名古屋市中区三の丸一丁目1番1号

名古屋城  
正門前

- ・地下鉄鶴舞線「浅間町」下車  
1番出口より東へ徒歩10分
- ・地下鉄名城線「名古屋城」(旧「市役所」)下車  
7番出口より西へ徒歩12分
- ・市バス「名古屋城正門前」下車すぐ  
(栄13号系統、栄27号系統、西巡回系統)
- ・なごや観光ルートバスメーグル  
「名古屋城」下車すぐ